

## 変な梅雨」定着

それにしてもよくも降ったりの今年の梅雨。この期間に東京で降った雨量は平年の倍の五百五十九<sup>ミ</sup>。統計の取り始めた一九五一年以来の第一位の多雨記録となった。鹿児島でも平年の倍の約千四百<sup>ミ</sup>も降った。全国的に見ても長雨多雨、繰り返し寒気が南下しての梅雨寒により気温も低めとなり、梅雨明けも九州から関東に飛ぶ有り様の変調な梅雨。

一昨年の梅雨も沖縄では空梅雨で異常渇水となり、九州北部から西日本で雨が少なくカラカラ梅雨の中に鹿児島が多雨がサンドイッチとなつてしまった。加えて東京冷えびえ、仙台は青空が続くというように縞模様の梅雨空となつて『変な梅雨』とも呼ばれた。中国の梅雨、メイユは揚子江流域に記録的な大雨を降らせて今世紀最悪の洪水被害をもたらし、どうやら変調な梅雨が定着してしまつた。

もつとも梅雨は初夏と盛夏を橋渡しする雨季で定形はない。空梅雨あり集中豪雨型の

アバレ梅雨、メリハリのきいたザアザア型、シトシトジメジメ梅雨があり、なかなか明けないと長梅雨と嫌われる。寒気が南下すれば梅雨寒となり、少し晴れが続くと梅雨の中休み、梅雨明けしてまた前線が南下すれば戻り梅雨となつて一筋縄では行かない。それにしても変わり梅雨、乱れ梅雨などと呼ばれる変調梅雨が続き過ぎている。

遡のぼれば一九八〇年頃を境に変動の激しい時期に入つて来て梅雨も変わり始めた。関東から北海道にかけての夏六月から八月までの平均気温を五十年間でみると、六十年代から七十年代にかけて気温の変動幅が小さく穏やかとなっていたが、八十年代は再び寒暖の幅が大きくなつてきている。

大陸からの寒気の南下が起こりやすい南北に蛇行する流れと太平洋高気圧の張り出しの強さが綱引きして梅雨を支配している。エルニニョ現象を含めてこの地球規模の流れが変つて変調梅雨が演出されているようだ。（村松 照男）